

あま市民病院だより

★不定期連載 消化器コラム★

第1回 胃癌検診とピロリ菌

ピロリ菌がWHO(世界保健機関)により『確実な発癌因子』と認定され既に20年以上経ちます。ピロリ菌と胃癌は何となくご存知の方も多いかと思えます。健康診断のオプションでピロリ検査を受ける方もいるかもしれませんが。実際に、ピロリ菌に感染している方たち(ピロリ菌陽性)と感染していない方たち(ピロリ菌陰性)の自然経過を比較した論文があります。ピロリ菌陽性の方は10年間で1,246人中36人(2.9%)の方に胃癌が認められているのに対してピロリ菌陰性の方は280人中0人(0%)でした。また、ピロリ菌を治療した方と治療しなかった方では、治療後胃癌の発生率が3分の1になったとの報告もあります。ピロリ菌を治療することによって胃癌の発生が抑制されるのです。



ピロリ菌については、胃癌だけでなく胃十二指腸潰瘍・胃MALTリンパ腫・特発性血小板減少症・鉄欠乏性貧血などの疾患との関連も指摘されており、最近では慢性蕁麻疹、パーキンソン病、アルツハイマー型認知症、糖尿病などの消化管外病変との関連も研究されています。ピロリ菌はもともと胃潰瘍など消化性潰瘍の原因として研究されていましたが、胃癌の関連も指摘されるようになってからは積極的に除菌されるようになってきました。

今回は、ピロリ菌と胃癌についてのお話しでした。胃癌健診には、丁寧な内視鏡検査がもっともよいとされています。経鼻内視鏡や鎮静剤を使って楽に検査を受ける方法もあります。かかりつけの先生が専門外の場合でも病診連携を使って、あま市民病院での内視鏡検査を予約することができます。ご紹介いただければ丁寧に対応いたします。

あま市民病院 消化器・内視鏡センター長 いわた まさみ 岩田 正己

◇◆◆あま市民病院Facebookのご紹介◆◆◇

あま市民病院の活動やお知らせなどをFacebookでも発信しています。



<https://www.facebook.com/amahosp/>

公益社団法人
MED 地域医療振興協会

〒490-1111 あま市甚目寺畦田1番地
問合時間：午前8時30分～午後5時
(土・日曜、祝日を除く)
☎ 444-0050 FAX 444-0064
<https://www.amahosp.jp/>

